

ビデオリフレクションを活用した授業力を向上させるための実践とその改善

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 理数・自然科学系（数学）

氏名（森 一晟）

本研究は、自己の授業の客観的観察とそこでの反省を活かした授業改善を通して、自己の授業力向上を目指すものである。そのために、ビデオを活用したセルフリフレクションを行った後、その自己の反省を基にした集団リフレクションをセミナーで行い、そこでの反省や追加の指摘を踏まえて次時の指導案を作成する、という一連の活動を繰り返し行うことにした。

セルフリフレクションにおける自己指摘及び集団リフレクションにおける他者からの追加指摘を5つの観点で分類してみると、「板書」「発言」「机間指導」の3観点に関する自己指摘と他者からの追加指摘は、実践を重ねて、いずれも減少した。これらの観点については、集団リフレクションにおける追加指摘が少なくなっているため、そうした面での授業改善には、ある程度の成果はあったように思われる。またその意味で、ビデオを活用した上記の一連のリフレクション活動は、教師の指導技術的側面の向上に一定程度寄与したと考えられる。但し、残りの「教師の行動」と「数学的な指摘」の観点については、実践を経ても、集団リフレクションにおける追加指摘は減少しなかった。こうした観点における授業改善や授業力の向上を図ることが今後の課題である。